

神奈川県環境インターンシップ “研修生”を募集しています！

神奈川県では、企業や大学の皆様のご協力をいただき、「環境インターンシップ研修」を実施しています。

この研修は、大学生や大学院生が、環境に関する取組を積極的に行っている企業での業務を体験することで、環境問題に関する知識や、その解決に必要な意欲・実践的能力を身につけてもらうことを目的に実施しています。

企業活動においても経営と環境との両立が求められています。企業における環境問題に対する取組や考え方はどのようなものなのでしょうか？

環境問題の解決につながる「ヒント」を皆さん自身で見つけてください。ご応募お待ちしております！

環境インターンシップとは

<p>目的</p> 	<p>大学生又は大学院生に、インターンシップ研修生として、環境に関する取組を積極的に行っている企業での業務を体験してもらうことにより、環境保全や環境問題の解決に必要な意欲及び実践的能力を有する人材を育成することを目的としています。</p>
<p>対象</p>	<p>【研修生】 神奈川県内にキャンパスを有する大学に在籍する大学生及び大学院生 (企業での研修及び県主催の報告会に原則全日程参加できる方) 【受入先企業】 環境に関する取組を積極的に行っている企業</p>
<p>研修内容</p>	<p>環境に関する取組を積極的に行っている企業において、環境問題やそれを解決するための企業の諸活動について学び、問題解決に向けた意欲や実践的能力を身につける。 例)・企業における独自の ISO の取組の学習や監査業務の体験 ・環境に配慮した製品づくりの企画・提案 など</p>
<p>研修実施期間</p>	<p>原則、平成31年7月下旬から9月30日の期間内において10日間程度(応相談)</p>
<p>研修実施の流れ</p>	<p>4～6月上旬 研修生の募集(大学で取りまとめ、県に申込み) 6月上旬 大学からの申込み情報を、県から受入先企業に提出 ～7月下旬 ⇒ 受入先企業は受入れ可能な学生を決定、県に報告 ⇒ 県は受入先企業及び大学にマッチング結果を送付 ⇒ 受入企業と研修生は研修日時・内容等の詳細を調整 7月下旬～9月 研修の実施 9月末 研修生は、「修了レポート」を県に報告(県から受入企業へ送付) 受入先企業は、「評価書」を県に提出(県から大学へ送付) 10月11日(金)又は18日(金) 学生・受入先企業等による報告会を開催</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p>研修生の 受入れ決定！</p> </div>
<p>費用負担</p>	<p>研修生は無給。 研修に係る交通費、出張旅費など全ての経費は、研修生個人又は派遣大学が負担する。</p>
<p>服務</p>	<p>研修生は、研修期間中、受入先の服務規律に従うとともに、受入先の担当者の指導、監督等に従うほか、秘密保持の義務を負う。</p>

スケジュール

時期		県	受入企業	大学	学生	
4月～6月上旬	研修生の募集	◆大学に募集要項及び受入一覧企業一覧を送付し、研修生の募集を依頼		◆学内で研修生を募集	◆大学と協議・相談の上、受入企業を選択	
		(◆推薦書等を受領、内容確認)		◆参加希望の学生がいる場合、応募用紙、推薦書、エントリーシートを県に提出 様式2 様式3	◆エントリーシートを大学へ提出 様式4	
6月上旬～7月下旬	マッチング作業	◆受入企業に、推薦書とエントリーシートを送付	(◆受領)			
		(◆報告を受ける)	◆受入可否を決定、県に報告 [*必要に応じて、学生に関する情報を大学に問合せ]	[*学生に関する問合せに対応]		
		◆受入先の報告を受け、マッチング結果を受入企業及び大学に送付	(◆受領)		(◆受領、学生へ連絡)	(◆研修先の決定)
	事前調整		◆学生と実施日時・内容等を調整、決定			◆企業と実施日時・内容等を調整
		(◆受領、大学に1部送付)	◆「実施計画」を作成、県に送付 様式5	(◆受領)		
		(◆協力)	(◆受領)	◆「覚書」及び「誓約書」を企業に提出(必要がある場合)	◆「覚書」及び「誓約書」を大学に提出(必要がある場合) 様式6 様式7	
7月下旬～9月	研修の実施	◆必要に応じて、企業・学生をサポート	(◆実施)		(◆実施)	
		(◆受領、大学に1部送付)	◆やむを得ず中止する場合、県に「中止決定」を連絡 様式8	(◆受領)		
9月末頃	成果の評価	(◆受領、受入先企業及び大学に各1部送付)	(◆受領)	(◆受領)	◆「修了レポート」を作成し県へ提出 様式9	
		(◆受領、大学及び学生に各1部送付)	◆「評価書」を作成、県に送付 様式10	(◆受領)	(◆受領)	
	公表の結果の	◆実施結果を県のHP等で公表				
	報告委員会	◆報告会等を開催(10月中旬)	(◆参加)	(◆参加)	(◆参加)	



平成31年度 受入企業【13社】

	小田原ガス株式会社	株式会社 環境創生科学研究所	管清工業株式会社	
主な事業内容	ガス業	環境コンサルティング・設計、環境技術関連の研究・開発、環境政策立案・提言	下水道管路施設維持管理業	
実習テーマ/内容	当社は、地元企業4社で結成した小田原地域で再エネルギーの地産地消事業を展開している「小田原・箱根エネルギーコンソーシアム」に参画しており、こうした取り組みの中で「持続可能なまちづくり」「持続可能な社会」を実現するため都市ガス事業者としてどのような取り組みをおこなっているかをテーマとして、都市ガス事業やプロパンガス事業、電力事業等のエネルギーに関する研修を実施します。	主に SDGs に関連する以下の新規事業関連の実務実習 ・海外新規事業展開のプロモート ・環境分野の海外ベンチャーとの協働プロジェクト形成 ・ESG 投資、マイクロファイナンスの検討及び投資案件形成	下水道管路管理 現場実習（施工補助） ◆屋内外排水管の調査（ファイバースコープ・TVカメラ等）、清掃（詰まり、定期）、補修工事（現場作業）など ◆公共下水道管路施設の調査（目視・TVカメラ等）、清掃（特殊車両）、補修工事（管内非開削更生作業）など	
実習地	本社：神奈川県小田原市扇町 1-30-13	本社：神奈川県横浜市中区相生町 5 丁目 8 0 相生ビル 4 階（出張の可能性あり）	東京都世田谷区上用賀 1-7-3/ 神奈川県横浜市旭区川井本町 66	
受入期間	8月26日から8月29日までの間、4日程度	8月1日から9月30日の間、5～10日間	8月1日から9月30日までの間、10日程度	
事前説明会	なし	なし	なし	
受入可能人数	4名	2名	各箇所1名	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	当社が都市ガスを供給している小田原市、南足柄市、箱根町、二宮町、大井町、開成町に在住の方のご応募をお待ちしております。※ほかの地域の方でもご応募は可能です。	地球環境、SDGs 及び海外支援に興味があり、これらの関連の仕事を行いたいと考えていること。これらの内容を勉強・学習したことがあること。	夏場の現場作業は大変です。明るく元気で真面目な方を希望します。通勤に支障のない方を優先します。作業着・安全靴を貸与致しますので、服・靴のサイズをお知らせください。	
連絡先	担当部署	総務チーム	総務部	管理本部
	担当者名	石井 充	竹俣	峰岸・石川
	電話	0465-32-2777	045-651-1795	03-5730-2882
	ファックス	0465-35-0064	045-305-6668	03-5730-2880
	E-mail	soumu@odawaragas.co.jp	info@lercs.co.jp	info-kyujin@kansei-pipe.co.jp
環境インターンシップ受け入れ実績	平成 29 年度:2名 平成 28 年度:4名	新規	平成 29 年度:2名	

	株式会社クレハ環境	コーワテック株式会社	生活協同組合パルシステム 神奈川ゆめコープ	
主な事業内容	産業廃棄物の中間処理	車両架装及び水陸両用バス開発・設計・製造・車検 人工筋肉ロボット開発・設計、製造	無店舗供給事業、共済事業、福祉事業、電力事業	
実習テーマ/ 内容	廃棄物処理プラントの運営管理の一連の業務に関する実習	○車両の設計に係る必要事項と製作現場の確認等（架装） ○重機用ロボットの制御と製作現場の確認等（可能であれば、東北大学等との協同研究現物の見学）	テーマ：生協業務を通してパルシステムの環境活動を知る ◆主な実習内容 ・環境活動の取組みの学習（座学） ・組合員拡大（営業）の補助・供給（配送）の補助 ・組合員活動運営の補助	
実習地	神奈川県川崎市川崎区千鳥町 6-1	神奈川県高座郡寒川町一之宮 5-18-18	当組合事務所：新横浜・県内各センター 産地：小田原	
受入期間	8月19日から9月30日までの間、4日程度	7月末日から9月30日までの間、5日程度	8月2日、8月3日、 8月5日～8月8日（予定）	
事前説明会	なし	なし	なし	
受入可能人数	1名	1～3名	4名	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	化学系もしくは機械系の学部生が望ましい。	作業・研修する上での最低限の基礎知識と積極性	生活協同組合パルシステム（グループ）に興味のある学生 ※学業の部門・学年は不問ですが、全日程参加できる方	
連絡先	担当部署	人事部	統括部 専務取締役	管理部 採用育成課
	担当者名	白旗 保光	浅間 誉志夫	朝倉 和男
	電話	0246-63-1231	0467-72-5081	045-470-5314
	ファクシ	0246-63-1232	0467-74-4168	045-470-4171
	E-mail	yasumitsu_shirahata@kurekan.co.jp	y_asama@kowatech.co.jp	palkanagawa-saiyou@pal.or.jp
環境インターンシップ 受入れ実績	新規	新規	平成30年度：2名、平成29年度：4名 平成28年度：3名、平成27年度：6名 平成26年度：4名、平成25年度：3名 平成24年度：4名	

	株式会社総合環境分析	株式会社ディグ（関連会社ミノリソリューションズ株式会社）	中日本高速道路株式会社	
主な事業内容	水質測定、固質測定、大気測定、臭気測定、騒音測定、作業環境測定、環境アセスメント関連環境調査、食品分析、放射線測定、その他各種実験及び試験	印刷、企画、システム開発、環境ソリューション事業	高速道路ネットワークの建設事業、保全・サービス事業及びサービスエリア事業など	
実習テーマ/内容	◆上水・環境水・事業所排水・土壌の環境分析 【主な分析項目】ノルマルヘキササン抽出物質、一般細菌検査、大腸菌検査、pH、SS 【その他】現場測定、サンプリング業務（業務の都合による）	◆企業経営に役立つ「環境経営マネジメント」の理解 ◆ITを活用した環境ソリューションビジネスの理解 ◆「環境関連ビジネスモデルの検討」などの課題検討 ◆社外の方を招いての発表会	◆当社の事業概要（建設、保全、サービスエリア事業など）紹介、各事業に関する現場見学（環境に関する取組を含む）、現場での実習、グループワーク など	
実習地	横浜本社：神奈川県横浜市緑区鴨居 1-13-2	東京都中央区湊 2-8-7	東京都港区	
受入期間	8月下旬から9月上旬までの間、14日程度	7月下旬から9月30日までの間、10日程度	8月5日から8月9日の間、5日間	
事前説明会	なし	あり	なし	
受入可能人数	1～2名	4名	3名	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	インターンシップ中の事故（通勤時含む）に備えた保険（自己負担又は大学負担）に加入してください。 インターンシップ中の様子（写真など含む）を当社ホームページに掲載させていただきます。	特になし	高速道路事業に興味があり、積極的に取組む意欲のある方。 エントリーシート記載のアドレスは、連絡先に使用しますので、丁寧に記載をお願いします。特に0（ゼロ）とo（オー）、1（いち）とl（エル）等。	
連絡先	担当部署	総務部	代表取締役	東京支社 企画調整チーム
	担当者名	神山 敬之	杉井 康之	田中 拓也
	電話	045-929-0033	03-3551-3060	03-5776-5600（代表）
	ファクシ	045-929-0039	03-3555-8684	03-5776-5340
E-mail	kamiyama@s-kb.co.jp	sugii@dig-inc.co.jp	kikaku-tokyo@c-nexco.co.jp	
環境インターンシップ受入れ実績	平成30年度：3名 平成29年度：3名 平成28年度：4名	平成30年度1名、平成29年度：2名 平成28年度：1名、平成27年度：2名 平成26年度：2名、平成25年度：2名 平成24年度：2名、平成23年度：4名	平成30年度：3名、平成29年度：3名 平成28年度：5名、平成27年度：5名 平成26年度：5名、平成25年度：4名	

	株式会社日立製作所 システム&サービスビジネス	フジクス株式会社	RAUL 株式会社	
主な事業内容	IT（情報通信分野）事業の部門	高圧水を用いた各種洗浄（ウォータージェット）業務 ◆建物内配管洗浄 ◆外壁洗浄 ◆高速道路等の社会インフラ保守	環境・IT コンサルティング	
実習テーマ/内容	◆講義 ①IS014001 規格に準拠した環境への取り組み ②環境関連法令と順守の仕組み ③製品での環境配慮開発 ◆見学 エコファクトリー/エコオフィス見学 ◆演習 ①気候変動対策への提案・発表 ②産廃処理管理模擬業務 ◆その他 日報、イベントごとの感想文等作成	ウォータージェット（高圧水）の活用方法について講義と実技を通じて考える ◆講義 ウォータージェットと当社の歴史 事業内容説明 など ◆現場見学 集合住宅配管洗浄 プラント設備洗浄 道路メンテナンス など ◆実技体験 振り分け技法体験 ガン洗浄体験 など	◆環境問題関連の調査 ◆記事執筆（エネルギー関連） ◆電力切替の営業支援 ◆電力ボードゲーム等のレクリエーション ◆時期によってはセミナー講演の運営お手伝い等あり。	
実習地	東京都品川区南大井 6-27-18 日立大森第二別館	本社：川崎市川崎区 川崎支店：川崎市幸区	東京都新宿区新宿 2-9-22 多摩川新宿ビル 3 階	
受入期間	9 月 3 日から 9 月 9 日までの間、5 日程度	7 月下旬から 9 月 30 日までの間、4 日間程度	7 月 22 日から 9 月 27 日までの間、10 日程度	
事前説明会	あり（8 月 1 日頃 大学の試験期間終了後）	なし	なし	
受入可能人数	2～4 名	4 名	5 名	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	企業での環境活動と IoT/IcT に興味があること	学部・学科問いません。 明るく元気な学生さんの参加をお待ちしています。	基本的なワード、エクセルスキル。 土日祝日はお休み。ノートパソコンを持っている方は持参してください。	
連絡先	担当部署	システム&サービスビジネス 統括本部 環境推進本部	総務部	サービスソリューション事業部
	担当者名	白見 元恵	水島 真吾	森 正旭
	電話	03-5471-2745	044-245-0761	03-6411-0858
	フックス	03-5471-2746	044-245-5871	
	E-mail	motoe.usumi.jj@hitachi.com	shingo@fujiks.com	masaaki.mori@ra-ul.com
環境インターンシップ受け入れ実績	平成30年度：2名、平成27年度：7名	新規	平成29年度：2名	

	TOTO 株式会社 茅ヶ崎工場	
主な事業内容	新製品の開発・研究、システムトイレの製造	
実習テーマ/内容	<p>EMS を中心とした企業における活動内容を実践現場で体験しスキルをマスターする。</p> <p>◆弊社環境マニュアル、規定類の説明と自習</p> <p>◆エコ商品を通じた企業の環境への取り組み体験</p> <p>◆振動騒音測定、排出物分別指導の実施</p> <p>◆役所への届出関連や施設パトロール</p> <p>◆環境貢献活動（周辺清掃等）</p>	
実習地	茅ヶ崎工場内:神奈川県茅ヶ崎市本村 2-8-1	
受入期間	8月5日から8月8日までの間、4日	
事前説明会	なし	
受入可能人数	3名	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	大学1年生および大学2年生	
連絡先	担当部署	安全環境グループ
	担当者名	高橋 明彦
	電話	0467-54-1048
	Fax/Fシ	0467-54-1176
	E-mail	akihiko.takahashi@jp.toto.com
環境インターンシップ受け入れ実績	<p>平成29年度:2名、平成28年度:3名</p> <p>平成27年度:3名、平成26年度:3名</p>	

平成30年度実施結果

受入先(実施期間)	学生	インターンシップの主な内容
株式会社大川印刷 (5日間または7日間)	関東学院大学(経営学部) 東京工芸大学(芸術学部)	◆SDGsを取り入れ、印刷業務を通じて工場内のゼロエミッションに向けた環境配慮・これからの社会の考え方を学ぶ。 ◆社会課題を自らの意識・気づいたことから社内へ発信、提案力をつける。
生活協同組合パルシステム 神奈川ゆめコープ (6日間)	桜美林大学(リベラルアーツ学群) 明治学院大学(法学部)	テーマ:生協業務を通してパルシステムの環境活動を知る ◆主な実習内容:環境活動の取組みの学習(座学) ◆組合員拡大(営業)の補助・供給(配送)の補助 ◆組合員活動運営の補助
株式会社総合環境分析 (10日間)	麻布大学(生命・環境科学部) 東京工芸大学(工学部) 明治大学(農学部)	◆上水・環境水・事業所排水・土壌の環境分析 【主な分析項目】ノルマルヘキササン抽出物質、一般細菌検査、大腸菌検査、pH、SS 【その他】現場測定、サンプリング業務(業務の都合による)
株式会社ディグ(関連会社ミノソリューションズ株式会社) (10日間)	明治大学(農学部)	◆企業経営に役立つ「環境経営マネジメント」の理解 ◆ITを活用した環境ソリューションビジネスの理解 「環境関連ビジネスモデルの検討」などの課題検討 ◆社外の方を招いての発表会
東鉄工業株式会社 (6日間)	関東学院大学(理工学部)	◆暑熱対策技術の効果測定および評価の実地作業。 ◆緑化事業における植栽の選定や植え替えの実地作業。 ◆太陽光発電所の仕組みやメンテナンス法の実地解説。 ◆SDGsを念頭に据えた環境ビジネスの立案補助。 ◆実際の現場視察を通じた品質の評価。
中日本高速道路株式会社 (5日間)	東京都市大学(環境学部) 明治大学(農学部) 横浜商科大学(商学部)	◆当社の事業概要(建設、保全、サービスエリア事業など)紹介、各事業に関する現場見学(環境に関する取組を含む)、現場での実習、グループワーク など
パシフィックコンサルタンツ株式会社(9日)	麻布大学(生命・環境科学部) 東京都市大学(環境学部)	◆生活環境・自然環境の調査・予測、環境アセスメント・生物多様性関係の報告書とりまとめ等 ◆廃棄物管理計画全般 ◆温暖化政策・気候変動影響の調査分析、エネルギープロジェクト検討等 ◆上下水道施設の設計・調査・計画・アセットマネジメント等◆地盤工学や応用理学に関する解析、調査等
株式会社日立製作所 システム&サービスビジネス	東京工芸大学(工学部) 明治大学(農学部)	◆IT事業の部門において、製品での環境配慮の状況を理解した後、環境製品や環境活動へのアイデアを提案する 1)規則:情報セキュリティ規則の理解と順守 2)講義:ISO規格関連、環境管理、環境関連法令解説と順守の仕組み、環境活動と管理実務、資源循環・製品回収の概要、製品開発での環境配慮(ハードウェア・ソフトウェア) 3)見学:エコファクトリー・エコオフィス・日立 IT エコ実験村 4)実習:製品・サービスのCO2排出量算定:LCA評価 5)提案・発表:『環境活動と気候変動に対応する解決策』

受入企業／学生の声

一企業担当者Aさん一

何事にもまじめで、難しい課題についても他の研修生と力を合わせて取り組み、期待以上のアウトプットをしていただきました。



一企業担当者Bさん一

意欲的な学生さんに来ていただくことで、企業側にも非常に刺激になります。改善提案もしていただき大変参考になりました。



一企業担当者Cさん一

今回のインターンシップは初めての受入で、課題設定も手探りでしたが、研修生の協力により有意義なものにすることができました。



一企業担当者Dさん一

CSRを推進する観点からも、今後も積極的に学生の実習を受け入れたいと考えます。



一学生Aさん一

一つの企業がこれだけ環境に優しくあろうと努力しているのだから、私たちも小さなことでもコツコツ環境にやさしい行動を積み重ねた方がいいと感じました。



一学生Bさん一

環境管理のための仕事は非常に責任が大きく、やりがいのあるお仕事であることを知ることができました。



一学生Cさん一

与えられた業務に対して、勤務時間内に終わらせるにはどう考えて取り組めばいいのかを考え、全体をイメージする大切さを学びました。



一学生Dさん一

就職するのがゴールではなく、自分がどのような人間として生きていくか、その場所が職場であることを学びました。

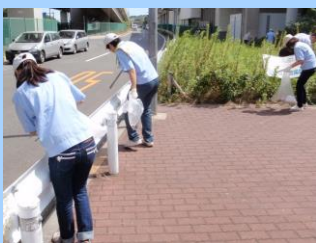
一学生Eさん一

普段の生活の中でも、今回学んだリサイクルの大切さを忘れずに、小さなことから環境保全に貢献していきたい。



一学生Fさん一

机上で学ぶだけでは感じることのできない「環境活動」の難しさややりがいというものを知ることができました。



一学生Gさん一

自分の考えを伝えることや他人の意見をくみ取りながら議論を進めることの難しさと大切さを学びました。



一学生Hさん一

働くことの中にも、お金以外のものを見いだせることができるのだということを教えていただきました。

◆問合せ先

神奈川県環境農政局環境部環境計画課環境計画グループ 担当：宮島

〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1

電話：045-210-4065（直通） ファクシミリ：045-210-8952

◆HP「神奈川県環境インターンシップ」

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f160198/p20329.html>

要領や様式はこちらのHPに掲載しています。